お知らせします

厚岸の学びの状況

令和６年度　全国学力・学習状況調査の結果について

●問い合わせ／教育委員会指導室（役場内）

令和６年４月18日に全国調査が実施され、過日、結果が公表されました。

今回の調査では、国語、算数・数学の２教科と学習の状況を捉えるための児童・生徒質問紙調査が実施されました。

この調査で把握できる学力や学習状況は児童生徒の状況の一端ですが、学校教育活動の状況や児童生徒の学びの状況と傾向を捉えることで、今後の教育活動の改善を進めていきます。

令和６年度　全国学力・学習状況調査の概要

1．調査期日　令和６年４月18日
2．調査対象　小学校６年生…43人　中学校３年生…45人
3．調査内容　(1)教科に関する調査（国語、算数・数学）
　　(2)質問紙調査（児童生徒に対する調査・学校に対する調査）

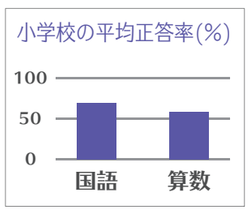
小学校

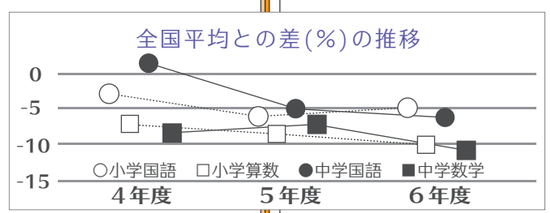
国語は昨年度に比べて改善傾向にあり。国語『読むこと』、算数『変化と関係』『データの活用』に課題

○国語：『読むこと』
○算数：『図形』
●国語：『話すこと・聞くこと』
●算数：『変化と関係』『データの活用』

・国語では、『読むこと』の領域に関わる問題や記述式の問題の正答率が高い傾向にあります。『話すこと・聞くこと』の領域については、全国平均と比較して、差が見られます。

・算数では、『図形』の領域において、図形の意味や性質の問題の正答率が高い傾向にあります。それ以外の領域では、全国平均と比較して、差が見られます。





中学校

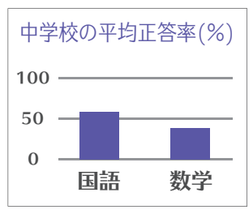
国語『書くこと』、数学『数と式』『図形』『関数』に課題

○国語：『話すこと・聞くこと』
○数学：『データの活用』
●国語：『書くこと』
●数学：『数と式』『図形』『関数』

○…正答率の高い領域　●…正答率の低い領域

・国語では、『話すこと・聞くこと』の領域において全国平均を上回っています。問題で問われていることに対して自分の考えを書く問題では、無回答が多く見られます。

・数学では、『データの活用』の領域において全国平均に近づいています。その他の領域については、全国平均を下回り、課題が見れらます。



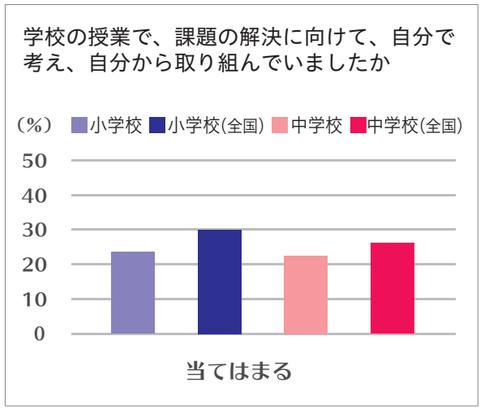
子どもたちの夢や目標を実現させるために

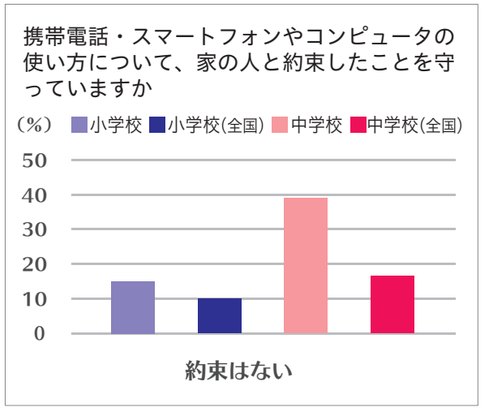
『将来の夢や目標を持っていますか』の質問で、小学校では約９割、中学校では約８割、『人の役に立つ人間になりたいと思いますか』の質問では、小・中学校ともに９割以上の児童生徒が当てはまる・どちらかといえば当てはまると回答しており、自分の将来について前向きに考えている様子が伺えます。さらに、『地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか』の質問では、小学校で８割以上、中学校で約８割の児童生徒が当てはまる・どちらかといえば当てはまると回答しており、自分たちの住む地域をよりよくしていきたいという姿勢が伺えます。

しかし、『学校の授業で、課題の解決に向け、自分で考え、自分から取り組んでいましたか』の質問に対しては、全道・全国と比べてやや低い傾向にあり、児童生徒の主体性に課題があるといえます。

また、『携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか』の質問には、『約束はない』と回答した児童生徒が、小学校で１割以上、中学校では４割近くになりました。

このような児童生徒の現状を踏まえ、一人一人の資質・能力を伸ばしていくために、学校では、児童生徒が主体的に取り組むための授業改善、ご家庭では、携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方についてお子さんとルールを決めて使用していく環境づくりを進めてくださいますよう、お願いいたします。





『わかった』『できた』を実感しながら学び続ける子ども

～ 学校では ～

・課題を自分事として捉え、主体的に取り組む授業づくり、一人一人に合わせた学びの環境づくりに努め、学習のルールや学び方を指導します
・ICTを効果的に活用し、自分で考え、仲間と深め合う力を育てるよう指導法を工夫します
・体力、健康、安全への意識向上を継続的に図ります
・学校間の情報共有を図り、連携を深めます
・学校の様子をわかりやすく保護者へ伝えます

～ 教育委員会では ～

・町内の学力・学習状況を分析し、成果や課題から改善策を示します
・探究的な学びのプロセスを大切にしながら、ふるさと・キャリア教育の推進に努めます
・指導方法の工夫改善を進め、少人数指導や複数支援体制の学習の推進に努めます
・ICTの活用では自分の考えや意見などをまとめ、交流する場面で効果的に活用できるよう、教師の指導力向上と授業改善の推進に努めます

～ 家庭では ～

・『早寝、早起き、朝ご飯』の生活リズムを整え、継続しましょう
・親子で携帯電話・スマートフォンなど情報端末機器の使い方のルールをつくり、ルールを守って使用できるようにしましょう
・家で学習する環境と習慣を整え、時間を決めて取り組みましょう（学習および読書時間の確保）
・家族の一員として、お手伝いなどの役割を与え、実行するようにしましょう